

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ



ロータリー:
変化をもたらす

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 小池平一郎 ◆副 会 長 / 湯本 敏晴
- ◆幹 事 / 小林 秋生 ◆クラブ広報・情報委員長 / 依田 晋一



2017~2018 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1386 平成29年10月24日

◆点鐘	小池平一郎 会長
◆SAA	黒田 説成 委員
◆ソング	我等の生業
◆ゲスト	朴敏貞様(米山奨学生)

【会長挨拶】 小池平一郎 会長

10月 は米山月間で、今日は米山奨学生の朴敏貞さんに卓話を頂く訳ですが、米山奨学事業は 1952 年東京ロータリークラブで始められました。

日本最初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉氏の功績を記念して発足した事業で 1967 年文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、日本の全クラブの共同事業となり今日に至っています。

その称号を付した米山梅吉氏について皆様もご存知と思いますが少しひもといてみます。

米山梅吉氏は 1868 年(慶応 4 年)2 月 4 日に江戸芝、大和国(奈良県)高取藩・植村家中士族和田竹蔵の三男として生まれました。母、うには三嶋大社の神官の娘であったそうです。1868 年と言えばポール・P・ハリスが生まれた年でもあります。(4 月 19 日誕生)4 歳の時に父竹蔵が他界し、母の郷里である三島に移住し、沼津中学に入学しましたが、2 年で退学し、上京して銀座の江南学校に入ったと記されています。18 歳で東京渋谷の英和学校に転入し、米国人ニコール・パックにつき語学を学んだとあります。この英和学校は後の青山学院です。19 歳の時静岡県長泉村の米山藤三郎の養嗣子として入籍し、この年の暮れ米国に渡り、それから 8 年の間、オハイオ州・ウェスレアン大学やニューヨーク州シラキュース大学などで法学を学んだそうです。1895 年 27 歳の時帰国し、文筆家を志して勝海舟に師事し、博文館より「提督彼里(ペルリ)」という本を出版しています。1897 年(明治 30 年)井上馨の紹介で三井銀行に入社し、三井銀行・深川・横浜・大阪各支店長などを経て 1909 年常務取締役となりました。その後三井信託株式会社を設立し、社長に就任し、その目的を“社会の貢献”とするなど、今日言うフィランソロピー(Philanthropy)の基盤を作りました。

Philanthropy はギリシャ語の「フィラン(愛)」と「アンソロポス(人類)」から由来し、今では社会貢献と訳されています。

そして 1920 年(大正 9 年)に日本初の「東京ロータリークラブ」を設立し、初代会長になりました。

米山梅吉は妻“はる”との間に愛子・澄子という二人の娘と東一郎・駿二・桂三という三人の息子がいましたが、東一郎・駿二は各々 20 歳・21 歳という若さで他界してしま

いました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子供の教育のためにはる夫人と共に私財を投じて小学校を創立したりしました。

1940 年(昭和 15 年)東京ロータリークラブは解散宣言をし、東京水曜会などとなりました。

米山梅吉氏は 1946 年(昭和 21 年)4 月 28 日静岡県長泉村にて 78 歳の生涯を閉じました。(「聖徳院殿梅園浄香良居士」)ポール・P・ハリスが逝去したのが 1947 年享年 78 歳です。二人は全く同世代を生きたということです。

【幹事報告】 小林 秋生 幹事

1. 関 邦則ガバナーより地区大会礼状
2. 上田東・上田六文銭RCより例会場名称変更について
11 月 1 日より 上田東急REIホテル
3. 第 19 回虚子・こもろ全国俳句大会実行委員会より後援礼状・大会応募要項
4. 山梨県立甲府第一高等学校より第 91 回強行遠足礼状
5. 例会変更

上田六文銭RC	11 月 21 日(火)	定刻受付あり
	11 月 28 日(火)	定刻受付あり
	12 月 19 日(火)	定刻受付あり
	12 月 26 日(火)	定刻受付なし
蓼科RC	11 月 15 日(水)	定刻受付あり
	11 月 29 日(水)	定刻受付なし
佐久RC	11 月 16 日(木)	定刻受付あり
	11 月 23 日(木)	定刻受付なし
上田西RC	11 月 2 日(木)	定刻受付なし
	11 月 23 日(木)	定刻受付なし
	12 月 21 日(木)	定刻受付あり
	12 月 28 日(木)	定刻受付なし

6. 週報

南佐久、上田東、丸子、上田西、東御RC
・例会終了後理事会

【本日の配布物】

週報 1384・1385 号、ロータリーの友 10 月号

◆ラッキー賞

NO. 9 掛川興太郎 君

◆出席報告 山口洋一 委員

会員数 22 名	出席義務者 22 名	免除者 0 名
本日	出席 17 名	
	事前 MU 1 名	77. 27%
前々回(10/3)	MU 0 名	72. 73%

小池平一郎君	ガバナー補佐を引き受けざるをえなくなりました。掛川さん、矢島さん宜しくご教示下さい。
掛川興太郎君	朴さん、ラッキー賞有難うございました。
小林 秋生君	地区大会へのご参加の会員さん方天候の悪しき中ご苦労様でした。

橋詰 希望君	菊ちゃん、無事喜んで帰国しました。朴さん連日の卓話ご苦労様です。上田RCメイクしました。参考になりました。
朝倉 俊次君	今後共ご指導お願いします。
前田 博志君	小池先生、有難うございます。

【本日のプログラム】「米山月間 卓話」米山奨学生 朴 敏 貞 様



「研究報告及び自己紹介」

皆さま、こんにちは。国際ロータリー第 2600 地区小諸浅間ロータリークラブの米山奨学生パクミンジョンと申します。これから自己紹介と大学生活や研究の報告をさせていただきます。では、発表を始めます。

まず、私の名前はパクミンジョンです。私は、1996 年生まれで今年 21 歳になります。出身は、韓国のチョンジュというところ。趣味は、音楽を聴くことと歌を歌うことです。スポーツの中では水泳が好きです。また、小学生の頃からピアノを習いましてピアノ演奏が得意です。

次は、私の家族を少し紹介させていただきたいと思います。私の家族は父と母、二人の姉と私で 5 人家族です。一番上の姉とは 7 つ違い、下の姉とは 5 つ違ひまして、年が少し離れています。そのため、子供の頃すごくかわいがってもらったようですが、今は本当に親しい友達のような感じです。

続きまして出身地であるチョンジュについて紹介させていただきたいと思います。清州は、観光地でもなく、大都会でもないの、みんなによく知られている地域ではありませんが、自然災害が少なく交通が便利な非常に暮らしやすい地域です。南韓国の真ん中に位置して、南韓国では海に接していない唯一な地域だということ、長野県と似ているかもしれません。面積は 940 平方キロメートル、人口は現在 85 万人です。日本の県庁所在地のような概念で、道庁を所在しています。清州には「むしむちょん」という川があり、川に沿って咲く桜がとて有名です。川のそばには、桜だけではなく、様々な地域のイベント施設や、公園の設備がととのえられて、桜が咲いてない時期にも地域の人々にとても人気な場所です。また、私が卒業した高校の目の前でしたので、毎年桜の時期になると昼休みに友達と花見に行ったりしました。

次は、先ほど話した私の卒業した高校を紹介させていただきたいと思います。学校の名前は一信女子高校で、キャンパスの中に昔のアメリカの宣教師たちが使っていた建物が残っています。長野大学と姉妹縁組を結んでおり、大学進学を目的とする一般高校です。授業は普通 8 時から始まり 6 時ころに終わりますが、その後 10 時まで夜間自習時間があります。一クラスに 30 名程度で 12 クラスまであります。私は、高校 2 年の後期から日本語の勉強をやり始めました。

次は、今の長野大学での生活を紹介します。私は、今韓国人留学生文化交流サークルに入っていて、毎年ハングル講座を開いたり、卒業式パーティーや国際フェスティバルなどでみんなと合奏に合わせて歌を歌ったりしています。

最後に、今大学でやっている研究の内容を紹介させていただきたいと思います。私は、長野大学の企業情報学部の中にあるデザインゼミに入っています。普通は地域と連携して鹿教湯温泉のイルミネーション設置のような地域デザイン活動を主にしている研究室ですが、今年は長野大学が公立化されたので、それをきっかけにする新しいロゴマーク制作プロジェクトに参加しております。最もシンプルな形にアイデンティティを含めなければならないというロゴマークの意義を考えると、これまでの長野大学の歩みを調べることで長野大学のアイデンティティ理解することができました。その中から 2 つの要素を引き出してデザインのコンセプトにしました。長野大学と地域の関係性を象徴する生き物の「コイ」と長野大学の花である「リンドウ」です。これらをコンセプトにしてデザインの作業を進め、地域と大学への提案を準備している段階でございます。私は今のところ 3 つくらいの提案を準備しております。

一番目は、コイが溜池から飛び出すような姿で長野大学のアイデンティティを表すと同時に、長野大学が地域の若い人材を生み出す学びの場であることを若芽の形で表現しました。コイように生き生きする若者たちが長野大学を土台としてさらに地域の中で活躍してほしいという願いを含めました。色は、リンドウの色です。

二つ目は、「長」という漢字の上部をコイで表す同時に、翼が連想できるような形です。これまでの歴史の上でできた今回の公立化が、これからの長野大学の飛躍になるという意味を含めています。色は、リンドウの色を用い、もう一段階さらに成熟する長野大学を濃い目の色を通して表しました。

三つ目は、漢字「長」の形を用いたデザインです。長野大学の歩みとその歴史性をグラデーションで表しつつ山の形で地域と大学の一体感を表現しました。同じリンドウの色を使いました。

研究の報告は以上でございます。ご清聴ありがとうございました。

次週のプログラム：10月31日 「地区大会報告」

次々週のプログラム：11月7日 「飯綱山公園草刈り」 奉仕プロジェクト委員会